

## 第5回宮城県新型コロナウイルス感染症対策本部幹事会 議事録

日時：令和2年12月11日（金）午後5時から  
場所：行政庁舎4階 特別会議室

（事務局：保健福祉総務課長）

ただいまから、第5回宮城県新型コロナウイルス感染症対策本部幹事会を開催します。議事進行を幹事長である伊藤保健福祉部長にお願いします。

（幹事長：保健福祉部長）

本日は、急遽、開催いたしました。感染者が県内で急増しております。本日公表する陽性者数は県分・仙台市分を合わせて46件でありまして、過去最高の数字になります。一昨日は43件、昨日は38件、本日は46件と高い数値が連続していますので、この事態を受けて、急遽、状況の認識の共有と対応を確認するために召集いたしました。よろしく願いいたします。

また、本日は御多忙の中、仙台市の會田局長にもお越しいただいております。よろしく願いします。

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。はじめに、「1 新型コロナウイルス感染症患者の発生について」、疾病・感染症対策室長から説明願います。

（疾病・感染症対策室長）

< 資料1について説明 >

（幹事長：保健福祉部長）

ありがとうございます。ただいまの説明について、皆さまからご質問等がありますか。私から確認ですが、県分で30名、仙台市はこれから公表ですけれども16名と聞いておりますが、合わせて46件は、10月の下旬に45件という、専門学校でのクラスターの時期ですが、これを上回る数であります。また、3日連続でかなり高い数が出ているということも注目すべき点です。情報提供基準にしたがった大崎市の高齢者施設、また登米市の飲食店では機能に引き続き、23名の陽性者がでていくということで、クラスターの認識をしております。

報道でもありましたように、国内での感染もかなり高い水準で出ております。一昨日及び昨日と国内で5日連続で過去最多を更新しております。また、東京都は本日も500人超えということで、先ほど報道がありました。そのような状況から、本件でも非常に憂慮すべき状況にあると思います。現時点の暫定ではありますが、病床使用率としては、5割をきっており、重症の方がそこまでおられないということで、安心していますが、入院数81というのは本県では過去最高になりますか。

（疾病感染症対策室長）

はい。過去最高になります。

（幹事長：保健福祉部長）

高齢の方の陽性者が出ると、病床の占有数が上がりますので、過去最高の入院者数という点からも、警戒が必要だと思っております。

それから、登米市では、先週あたりから、介護施設の関係ですとか、昨日、今日と飲食店でクラスターが発生しております。登米保健所の人的体制等はどうですか。

(事務局：保健福祉総務課長)

登米保健所管内で陽性が確認されはじめまして、先週から、1名ないし3名の職員を応援職員として派遣しているところをごぞいました。今回、急激に感染者が増えているということで、本日につきましては6名の保健師及び6名の事務職、合計12名の職員が応援に入っているところをごぞいます。そのほか、登米市役所の方からも、7名の保健師に応援をいただいているという状況です。なお、事務職6名につきましては、登米合同庁舎内の保健福祉部以外の部局の皆さんからの応援をいただいている状況をごぞいます。

(幹事長：保健福祉部長)

合同庁舎ということで、保健福祉部以外の部局からも応援をいただいております。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。保健福祉総務課においては、今後、登米保健所以外の保健所も大変な状況になることが予想されますから、機動的な人員の応援体制をよろしくお願ひします。以上が本日の患者発生状況になります。

繰り返しになりますが、本日は、県内で過去最高の陽性者数となっております。また、東京都は、3日連続で多数の患者が出ておりますので、これまででもっとも警戒すべき局面に入っていると受け止めております。どうぞよろしくお願ひいたします。

次に、「2 県内における新型コロナウイルスの感染症患者の発生状況等について」疾病・感染症対策室長からお願ひします。

(疾病・感染症対策室)

< 資料2について説明 >

(幹事長：保健福祉部長)

ありがとうございます。ただいまの説明について、皆さまからご質問等がありますか。

私から申し上げますが、3ページにありますとおり、ここ数日の感染拡大で、療養者数が200人以上に跳ね上がっております。病院の入院数の上昇についても懸念されます。先ほどもありましたとおり、入院者数が91名と過去最高を記録しております。病院の病床やホテルについても増やしておりますが、特に病院の病床につきましては、高齢者の患者が続出しますと、逼迫が懸念されます。また、4ページにありますとおり、何度も本部会議等で説明しておりますが、最近、クラスターが地域的にも広がりをみせている状況で、本日は例でのクラスターを認定しております。5、6ページにもあります通り、コミュニティ、地域、家庭、学校等、身近な場面を介して広まっていることを非常に重く受け止めなければならないと考えております。そのようなことを強く意識して各部局で所管の団体等への周知を引き続きお願ひしたいと思ひます。

前回の幹事会の11月27日に、各部局から取組の報告をいただきました。

総務部では、専修学校等の対策の徹底、環境生活部では、新型コロナウイルス感染症対策実施中のポスターを掲示している店舗や施設について、仙台市と連携して対策の確認を行いました。経済商工観光部では、外国人コミュニティへの対策、また、教育庁では学校における感染予防の周知について徹底していただいているとご報告がありました。引き続き、本日の情報共有をふまえ、各部局においてできる限りの対策をお願ひしたいと思ひます。本部長の知事からも指示を受けておりますので、よろしくお願ひします。

新型コロナの感染状況について、保健所の調査からわかっていることとして、先程の疾病感染症対策室長からの説明にもありましたとおり、基本的な対策の徹底が必要であるといえます。具体的には施設や飲食店等の事業者の側からしますと、三密回避や、ガイドラインの徹底、また、利用者等、県民の立場からすれば、ディスタンスの確保、手洗い、マスク、警戒の意識を引き続き持つこと等が重要であると考えております。いずれも基本的な感染対策でありまして、このことによって防げたと思われる事例が非常に多いわけでありまして、気が緩んでいるのではないかとする指摘もされています。厳しい指摘ではありますが、我々、

県として県民や事業者の皆様働きかけていかなければならないと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

それから学校のことですけれども、先ほど申しましたように、学校の生徒や職員の方が検査を受ける場合もあります。市町村等の調整もあろうかと思っておりますけれども、保健福祉部の方でも、検査体制をしっかりと対応していきたいと思っておりますので、引き続き、連携のほどよろしくお願いいたします。

先ほども言いましたように、これまでで最も警戒すべき局面にあると捉えております。強い危機感をもって対応にあたりたいと考えております。どうぞ各部局の連携について、引き続き、よろしくお願いいたします。

仙台市の會田局長にもお越しいただいておりますので、ご発言をお願いします。

(仙台市會田局長)

この間、様々、療養体制、入院体制の整備を進めていただいております、ありがとうございます。さらに、高齢者の方や障害のある方の療養体制につきましても、色々と準備を進めていただいているということで非常に心強く思っております。

一方、仙台市の方でも感染拡大が続いている、引き続き感染者が多く発生している状況でございます、2月から既に10ヵ月こうした体制で取り組ませていただいております。

現場である保健所や衛生研究所は、かなり厳しい状況でございます。そうした点も含めまして、引き続き、県のご支援をいただきながら、感染対策に力を注いでいきたいと思っておりますので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

(幹事長：保健福祉部長)

「4その他」として、各部局からこれまでの説明・報告等について質問等を含め、何かございますか。(質問なし)

(幹事長：保健福祉部長)

それでは以上で議事を終了します。

(事務局：保健福祉総務課長)

以上をもちまして、第5回宮城県新型コロナウイルス感染症対策本部幹事会を終了いたします。

本日は、お疲れ様でした。